

日本には、カマキリ科とハナカマキリ科に属する2科9種が生息している。

## カマキリ科 Mantidae

オオカマキリ *Tenodera aridifolia* Stoll, 1813

私の昆虫図鑑：Index NO.1416

体長：オス68 - 90mm、メス75 - 95mm

分布：北海道、本州、四国、九州、対馬、

日本以外では朝鮮半島、中国、東南アジア日本最大のカマキリで、体色は緑色型と褐色型が知られる。チョウセンカマキリやウスバカマキリとよく似ているが、後翅の付け根を中心とした大部分が暗紫褐色なので区別できる。前脚の内側に模様がなく、左右の前脚の間の胸は目立たない淡い黄色、もしくは黄色斑紋上部縁側がエンジ色をしている。川原や林縁の草むらに生息する。

チョウセンカマキリ (カマキリ) *Tenodera angustipennis* Saussure, 1869

私の昆虫図鑑：Index NO.1417

体長：オス65 - 80mm、メス70 - 90mm

分布：本州、四国、九州、対馬、沖縄本島、日本以外では中国と朝鮮半島

単にカマキリとも呼ばれる。後翅の前縁部と中央に並ぶ暗褐色の短い筋を特徴とする前脚の内側に模様はなく、左右の前脚の間の胸は山吹色をしている。

ウスバカマキリ *Mantis religiosa* Linnaeus, 1758

私の昆虫図鑑：Index NO.1419

体長：オス50 - 66mm、メス59 - 66mm

分布：世界各地に分布。

日本でも北海道南西部以南に分布する。欧州や、世界で一般に「カマキリ」と呼ばれるのは本種であり、ファーブルの『昆虫記』に登場する種 (和名：オガミカマキリ) もこれに入るが、日本産の個体数はオオカマキリに比べて少なく、県によってはRD指定を受けている程で、見つけるのは難しい。淡い緑色、または茶色で、複眼後部に黄色い横線模様が入っていて、前脚の基節内側に黒い楕円形紋がある。



オオカマキリ (褐色型)



ウスバカマキリ (オーストリア産)

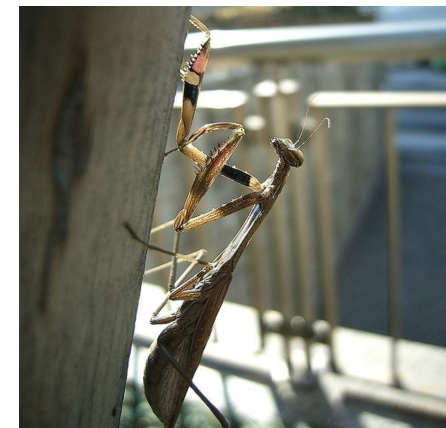
コカマキリ *Statilia maculata* Thunberg, 1784

私の昆虫図鑑 : Index NO. 1420

体長 : オス36 - 55mm、メス46 - 63mm

分布 : 本州、四国、九州、対馬、日本以外では台湾など

小型のカマキリ。体色は褐色もしくは薄い紫褐色だが、まれに緑色や赤褐色のものがある。前胸腹板には黒色帯があり、前脚の基節と腿節内側にはそれぞれに黒い模様がある。林縁の草むらや河川敷の草が生い茂った場所に生息しているが、地上性が強い。都市部にも生息している。



コカマキリ

ハラビロカマキリ *Hierodula patellifera* Serville, 1839

私の昆虫図鑑 : Index NO. 1418

体長 : オス45 - 65mm、メス52 - 71mm

分布 : 東南アジアに広く分布する。日本では本州以南

通常緑色型で、前翅に白い斑点がある。前脚基節前縁に3から5ぐらいの突起がある。他のカマキリに比べ前胸が短く、腹部は幅が広く見える。樹上性で、林縁の日当たりの良い木の上や開けた草原の樹上に生息している。

少ないながらも茶色も見られる。



ハラビロカマキリ

ヒナカマキリ *Amantis nawai* Shiraki, 1911

私の昆虫図鑑 : Index NO. 1421

体長 : オス12 - 15mm、メス13 - 18mm

分布 : 台湾、日本では本州以南

褐色の非常に小型のカマキリ。翅は小さく鱗片状。台湾産のものには翅が長くなる個体があるのが知られているが、日本国内では見つかっていない。胸部背面の中央にこげ茶色の縦筋がある。森林の落ち葉の上に生息する。また、建物の壁面にも見られる。

地上で生活するため、茶色や黒といった枯れ葉や土に似せた色合いの個体しか見られない。



ヒナカマキリ

出典 : 『北摂の生き物』 へようこそ  
《ほくせつのいきもの》  
<http://www.hokusetsu-ikimono.com/>

## ヒメカマキリ科 Hymenopodidae (私の昆虫図鑑)

## ハナカマキリ科 Hymenopodidae (Wikipedia)

複眼は大きく横または上方に突き出す。複眼の間には複眼よりも小さな突起がある。

ヒメカマキリ *Acromantis japonica* Westwood, 1849

私の昆虫図鑑 : Index NO. 1421

体長 : オス25 - 33mm、メス25 - 36mm

分布 : 本州、四国、九州、対馬、屋久島、奄美大島

樹上性で小型のカマキリ。緑色型と褐色型が存在。オスの羽は黒っぽく艶があるが、メスは艶があまりなく褐色に濃い褐色の斜めの縞模様がある。後翅が長くて前翅よりも後ろにはみ出し、その両側がとがる特徴がある。この科の幼虫は腹部を持ち上げるような格好が多く見られるが、コカマキリの初齢やハラビロカマキリにも見られるので、本科だけの特徴ではない。明かりにも飛来する。

体が小さい分動きが素早く、追い詰められると他のカマキリにはあまり見られない擬死行動を採る。オオカマキリの褐色型のような体色が殆ど。



ヒメカマキリ

サツマヒメカマキリ *Acromantis australis* Saussure, 1871

私の昆虫図鑑 : 調査中

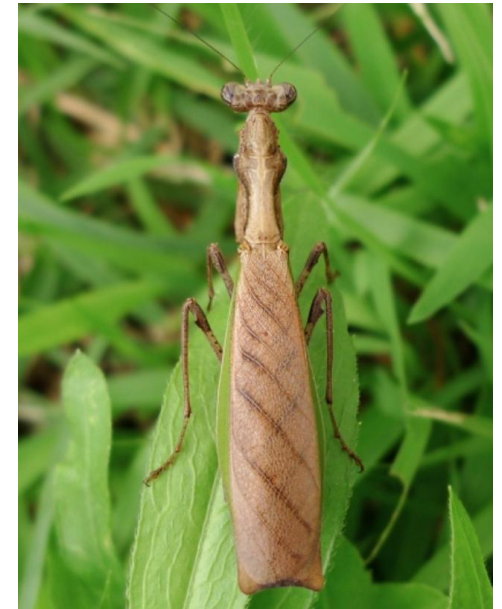
体長 : ≒30mm

分布 : 九州 (Wikipedia)

徳島市八万町(文化の森総合公園)で7月初旬頃からしばしば目にするヒメカマキリ成虫。カマキリは卵のうで冬を越し、春に孵化して夏の終わり頃に成虫になるのが一般的なパターンだが、本種は幼虫で越冬するためこの時期にすでに成虫になっている。

出典 : 虫撮りデジカメ日記

<http://kisar.sakura.ne.jp/insects/frameset.html>



サツマヒメカマキリ (2111/7/10)

出典 : 虫撮りデジカメ日記

<http://kisar.sakura.ne.jp/insects/frameset.html>

## 記録が少ない種

### ■ ナンヨウカマキリ *Orthodera burmeisteri* Wood-Mason

体長：オス36mmほど、メス39mmほど

分布：小笠原諸島に少数が存在する。

### ■ ムナビロカマキリ

体長：オス74 - 88mm、メス68 - 92mm

分布：南西諸島

卵嚢はチョウセンカマキリとほぼ同型。体全体が太く頑丈で外観はオオカマキリに似ているが、体の各部特徴はチョウセンカマキリに同じ。

### ■ オキナワオオカマキリ（マエモンカマキリ） *Tenodera* sp.

体長：オス77 - 101mm、メス93 - 105mm

分布：奄美群島（徳之島以南）から八重山諸島にかけて分布。

緑色型と褐色型がある。緑色型の頭楕や上唇は黄色または黄色味が強い。

メス緑色型の前胸背面は背中線を中心に赤褐色が顕著に現れる場合が多い。

前脚の内側に模様はなく、左右の前脚の間の胸は周りと同色。卵嚢はオオカマキリに似ているがより大型であり角ばらず楕円に近い。

### ■ ヤサガタコカマキリ *Statilia* sp.

体長：オス36 - 40mm

分布：八重山諸島

緑色型やメスは未知。前胸は短めで体形は華奢。前脚紋の違うコカマキリ。

### ■ スジイリコカマキリ *Statilia* sp.

体長：オス41 - 51mm、メス50 - 57mm

分布：沖縄諸島と八重山諸島。宮古諸島からは記録が無い。

褐色型と緑色型がある。前脚紋の違うコカマキリ。

### ■ オガサワラカマキリ *Orthodera* sp.

肩が尖った小型のカマキリ。ナンヨウカマキリと同じ種類かは不明。